

出前芝居

台本 = 鈴木 幹二  
 演出 = 高木 康夫  
 装置 = 遠藤 正義  
 照明 = 杵屋 邦寿  
 音楽 = 梶山 麻季子  
 制作 = 梶山 麻季子

くずくずの

屑屋でござる

古典落語 『井戸の茶碗』より

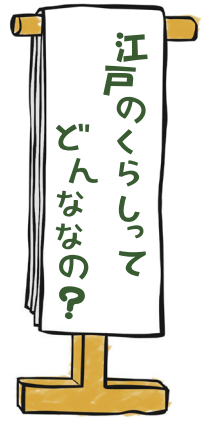


「ものがたり」  
 ある日、屑屋さんが裏長屋で仏像を買った。  
 すぐに売れたと喜んでいたら、仏像の中から  
 出てきたものは……  
 上を下への大騒動！  
 これぞ「お江戸のものがたり」。



江戸はゴミのない町だった！東京が江戸だったころ、訪れた外国人は、口をそろえて「ゴミが落ちておらず、きれいな町である」といっていたそうです。江戸の町にはどうして「ゴミが落ちていなかったのでしょうか？」  
 江戸の人たちはどんな日常を過ごしていたのでしょうか？  
 お芝居をより深く味わっていただけるように、江戸の人たちがどのような暮らしをしていたのか、会場のみなさまと楽しみながら和やかにご紹介いたします。

お江戸の  
おまじな



●一九三二（昭和六）年、革新の意気に燃える若い歌舞伎俳優たちが創立。戦後は廃墟の中、青少年劇場運動を起こして全国を廻り、感動と励ましを届けた。二〇二二年には創立九一周年。

前進座